

20260724

群馬県学校給食研究集会

学校における食育の推進

～全ては子どもに 食を語らせること～

- ・ 給食を食育の授業時間にしましょう
- ・ 話食をしましょう
- ・ 意識は変えられないからシステムを変えましょう



前 調布市立杉森小学校 校長
現 東京栄養食糧専門学校 教授



濱松章洋

家庭と比べてみた給食のすばらしさ 衛生編

- ・ 衛生管理 入室・搬入
- ・ 中心温度点検 1分以上75度維持 3ヶ所以上
二枚貝（85～90度で90秒）
- ・ 真空冷却器
- ・ 滅菌保管庫
- ・ 靴やエプロン交換
- ・ 余洗い、三層シンク
- ・ 当日納品・即日調理 衛生管理基準等々・・・

家庭と比べてみた給食のすばらしさ 調理編

- 野菜の切り方
- むいた野菜の皮
- 栄養バランス（栄養摂取基準）
- 化学調味料未使用 天然出汁
- カレーのルーは固形は使わない
- 冷凍未使用
-



志を遂げることに対する 3大阻害要因

1 配置基準

2 学校・教員の食育に対する意識

3 教員・学校に余裕がない 学校を取り巻く教育課題

- ・児童相談所案件
- ・保護者対応
- ・ICTなど新規対応
- ・登校渋り、不登校
- ・いじめ
- ・特別支援 教室離脱

… etc

食育・給食担当教員の主な声

- ・担任の先生の食に対する意識が（涙）
- ・配膳・下膳・お代わりなどの理屈に合わない教室ローカルルール
- ・担任の先生はうちのクラスの子は食べないというけれど
- ・そもそも、はじめによそる量がすくないから残るのに！
- ・4時間目終了を伸ばすから給食が犠牲になる
- ・テストの丸付けしていて給食指導をしてない
- ・せっかく給食メモ毎日書いても担任が読んでくれない
- ・栄養教諭は一人職だから、関係を悪くできない
- ・管理職も食育を重要視してくれない
- ・箸とスプーン両方いる？って言うけれど・・・

給食におけ問題抽出

- ① 給食**開始時刻**が遅れる（アレ対応調理員）
- ② 昼の校内放送**運動会のダンス音楽**を流すと低学年は踊りだすから**やめてほしい**
給食と関係ない**ラジオ番組**になっている
- ③ 教員が他のこと（丸つけなど）をしていて**配膳・下膳状況**を見ていない
- ④ **給食中の呼び出し リレー練習**

- ⑤ 学校中給食を食育の授業時間とっていない
- ⑥ 先生ごとのローカルルールがある
(偏食指導・お代わり)
- ⑦ 教員が互いの給食指導を見合うことがない
- ⑧ 給食指導についてそもそも話し合う場がない
- ⑨ クラスによって残食が極端に異なる
子どものお椀の持ち方等マナーがおかしい
- ⑩ 心を込めて作った給食の今日のポイントを書いた
給食メモを子供に読んでくれない先生がいる

1 好き嫌い 2 残食量 3 担任によるクラスごとのルール

全国の栄養士・栄養教諭と話していて全員が同じことを言う

子どもの食べる食べないは担任次第
マナーの定着も担任次第

給食メモに献立の思いを込めているから
ぜひ子供に読んで聞かせてほしい

学校栄養職員・栄養教諭の皆さんは一人職なんです
一人で抱え込まないで！

ある学校の苦悩

- ・授業の規律が乱れている。廊下で遊んでいる児童多数。教室離脱は常時15名
- ・始業式、自分のクラスの担任発表以外全く聞いていない。
- ・掃除の時間遊んでいて掃除しない 水道には雑巾が複数枚放置
- ・廊下は常に物が落ちている 給食が終わると廊下に使用済みストロー散乱
- ・給食は残食7割 下膳バラバラ・グチャグチャ
- ・地域から多くの授業サポーターが入って教室で見守りも落ち着きなし
- ・結果として 担任18名中4名がメンタルリタイア 20%越え

教育目標

思いやり助け合う子ども

元気で丈夫な子ども

◎自ら考え進んで学ぶ子ども

◎自分の考えをもち 自分たちで決定し 自分たちで（学校生活と自分を）創り上げる子ども

○相手意識と感謝の気持ちを言動に表せる子ども ○心も体も健康な子ども

学年チーム担任制

教科等担任制 + ローテーション

各教科	特別の教科道徳	外国語活動	総合的な学習の時間	給食授業	学級活動・行事	給食・朝帰りの会・清掃	生徒指導・特別支援
-----	---------	-------	-----------	------	---------	-------------	-----------

授業力向上校内研修

学年内分掌

生活指導・特別支援・不登校支援・各種対応
教科担任校内研・探究・ICT活用

杉森のチーム学年担任制

（学年内教科等担任制＋学活・給食ローテーション）

「子どものよさをみんなで見取り 課題を共有し 重点目標（◎）達成に向けて 同一歩調で全教育活動を連動させる」

構成：専科は学年付きとし、学級数＋１で構成

役割・取り組み

- ①事務手続き上学級担当は決めるが、「うちのクラス」という意識から「うちの学年」へ意識転換
- ②学年事務・保護者連絡・通知表要録所見等全員で分担
- ③短期・中期・長期 PDCA サイクルで常に計画・実施・評価・改善を繰り返す。
- ④学年情報共有⇒管理職報告を徹底し、組織で対応一人又は学年で抱えない。
- ⑤通級担当は担当児の給食指導に入り通級指導に生かす。

例 いじめの申し出⇒学年共有・管理職報告⇒対応委員会⇒生活指導⇒道徳・学活の授業・各教科の話し合い活動を同時連動集中的に取り組む

広報戦略

R9 ゴール

3月

通知表所見 「主体性総括」

2月

保護者会「自分たちの学校になったか【児童アンケートより】」

R8

12月 保護者会

「自分たちで話し合わせたこと・決めたことによる成長について」

10/11月 行事

9月 学校だより

題「子どもが自分たちで創る自分たちの行事」

7月 保護者会

「1学期自分たちで話し合ったこと決めたことについて」

4月 保護者会

「子どもに考えさせ、子どもに話し合わせ・子どもに決めさせる方針と年間の内容」

3月 通知表所見

「感謝・相手意識・主体性」

1月 学校だより

内容「子ども主体の学校」

カリキュラムマネジメント

教科等横断的

PDCA

人材活用

給食の時間でどんなことを学ぶの？

給食の時間

食に関する指導

給食指導

給食を美味しく楽しく味わって学ぶ

食育の学習時間にしちゃえばいいんだ！

教員の意識は変えられない

だから システムを変える マネジメント

食育を大切ではないという人はいない

それなのに校内での優先順位は低位に甘んじている

校長・学校栄養職員・栄養教諭は

→ ★ 意義や意味の説明と説得

→ ★ システムを変えてやらざるを得ない状況を作ってあげる

例：タブレット一人一台配布

システムチェンジ前 教員から聞かれる主な声

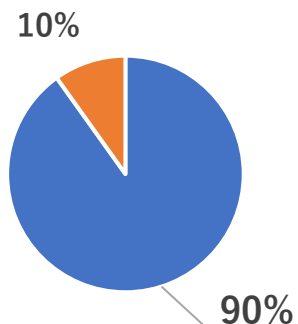
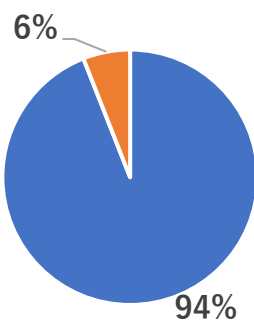
- うちのクラスの子は食べない
- 偏食・小食の子がいる
- 数が違う時、取りに行くのが大変
- 配膳が難しい（複雑な）時がある
- 配食量が多い時がある
- 親も嫌いで家で出さない
- 茶碗や箸の持ち方がおかしい
- 時間が足りない

全校で取り組んだ結果 食育・給食はどうなっているか

「子ども」 「保護者」 「教員」 「学校」

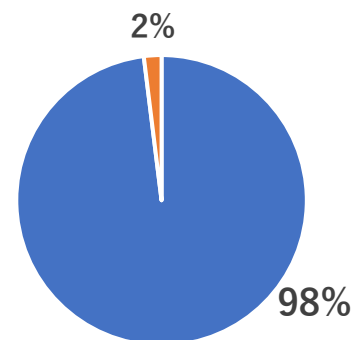
子供

給食の時間が楽しみだ 給食は人生を健康で笑顔にする勉強だ



保護者

学校の食育に満足している



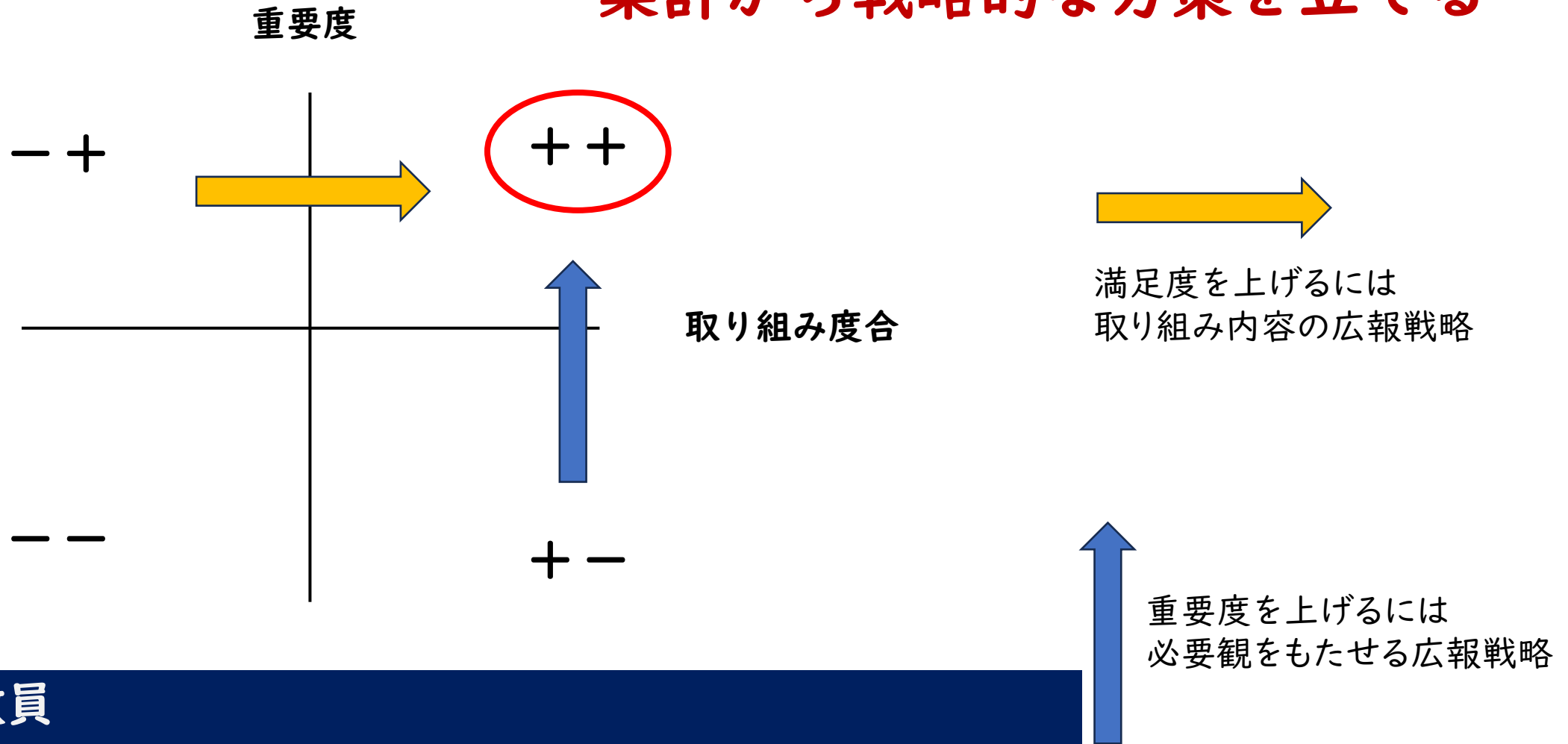
教員

全クラス毎日給食中食育の授業をしている

学校（組織）

食育推進委員会が楽しんで取り組んでいる

集計から戦略的な方策を立てる



例：教員

食育は重要である

具体的な取り組みを行っている

これを学校評価と言う

教員に不満を出させ、思いを語らせる

学校の問題抽出と対応

食育の授業時間である給食の問題抽出

思いや不満

- ① 給食開始時刻が遅れる（調理員）
- ② 昼の校内放送が給食と無関係の話や大音量の音楽等ラジオ番組のようにになっている（低担任）
- ③ 教員が他のこと（丸つけなど）をしていて配膳・下膳状況を見ていない（栄養士）
- ④ 給食中子どもや教員を呼び出す（担任）

- ⑤ 給食中に子どもを**招集**する(委員会・クラブ) (担任)
- ⑥ 学校中給食を食育の授業時間とっていない (管理職)
- ⑦ 先生ごとの**ローカルルール**がある (専科)
- ⑧ 教員が互いの給食指導を**見合うことがない** (担任)
- ⑨ 給食指導についてそもそも話し合う場がない (食育リーダー)
- ⑩ 子供のお椀の持ち方がおかしい (専科)

食育の授業時間である給食の**本校**における 課題抽出 → 改善提案

給食に於ける教員の約束①～⑪

- ① 給食開始時刻が遅れる→**4校時の終了時刻の厳守**
(★食物アレルギーチェックがあること ★黒板に給食メモ投影)
- ② 昼の校内放送の内容 ★**給食のことに限定**
- ③ 昼の校内放送音楽 ★**穏やかで小さい音のBGM**
- ④ **教員による配食・下膳の立ち会い義務** (★**コロナ禍配食システム**)
- ⑤ 給食中**子どもや教員**を呼び出すのは**緊急時**のみ(教科の授業と同じ)

給食時間中のテスト採点禁止 → 給食は食育の授業時間

★職員会議の廃止→学年主任会 (校長カリマネ)

- ⑥ 教員による食トーク(★いただきますの時必読システム)
- ⑦ 給食のルール策定(教員毎のローカルルールの廃止
→ ★深小給食スタンダード 別紙 システム)
- ⑧ 教員向け食育(給食指導)研修会の実施
(★年度初め・長期休業中 システム)
- ⑨ 児童向け★給食集会における給食スタンダードの説明
(子供と同時に先生も聞いているから先生はやる)
- ⑩ ★給食指導交換による指導実施状況の確認と改善報告システム
- ⑪ 子供のお椀の持ち方が課題→ ★全校年3回の調査 システム

どのようなシステムチェンジをしたのか

給食アレルギー読み合わせの中に「給食の問題点」を話す場を設定⇒食育推進委員会

- 1 学年担任制（チーム〇〇小化）による給食指導ローテーション
- 2 給食スタンダード策定と実施 （4月給食開始前に給食集会）
- 3 給食メモの全学級食べる直前の担任による読み上げ
- 4 給食時間の放送原稿は事前練習含め内容の限定
- 5 パシャパシャタイム
- 6 給食時間を含めた学校公開 他
- 7 運動会・卒業式など各種実施計画案役割分担への明記
- 8 教員対象給食予告宣言の 大人への給食メモ

食育推進委員会の歩み

教員に不満を出させ、
思いを語らせる

次年度計画
食に関する全体計画・指導計画策定

対応策修正・実施 最終結果

課題として組織的に取り組む
食育推進委員会がなければ、運営委員会

組織で取り組む理由は「大義名分」と同じ

例：PTAの会議に行って給食のことで不満を聴く（対応せざるを得ない状況を創出する）

例 偏食指導が教員バラバラで登校渋りの原因

例 発達課題のある児童への適切な対応になっていない

対応策の検討と実施

ポイント：目標設定は？
ポイント：少なくとも初期値はとっておこう

給食時間授業化のための共通ルール (教育計画)

給食指導

1 学校給食の目標

*適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ること。

*日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、及び望ましい食習慣を養うこと。

*学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養うこと。

*食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることについての理解を深め、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養う。

*食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、勤労を重んずる態度を養うこと。

*我が国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深めること。

*食料の生産、流通及び消費について、正しい理解に導くこと。

2 学校給食の内容

*正しく、楽しく食事をするについての指導を行う。

*給食時の清潔や環境整備についての指導を行う。

3 指導上の留意点

給食は食育の学習時間であることを念頭に給食児童・食に関する指導を行う。その際、特に以下の点について注意する。

- ① 杉森小給食スタンダードに従って指導を行い、決して教室ごとの教員による独善的なローカルルールをもうけない。常に同一步調で取り組むこと。
- ② 食事を楽しい雰囲気ととれるように配慮し、配膳は教員が立ち会うこと。配食量は個に応じて調整すること。嗚咽するほど食べられないものは、保護者と確認のうえ、よそらないことを認めること。小食の児童には適量を見極められるように徐々に指導しながら、下膳時に残して廃棄してしまうことのないよう児童の心情に寄り添いながら指導を重ねていくこと。決して、一口でも食べろなど、強引な指導は行わないこと。楽しい雰囲気づくりによって、食べてみようという気持ちにさせること。食缶の完食は目指さない。
- ③ 教師は児童の班に入って、児童と食事を共にし、日常会話を通して一人一人の児童をよく観察し、個人差に応じた指導を行う。生活指導上の問題などについても情報収集の場となることを念頭に、観察をする。
- ④ 衛生や安全に努め、特に給食当番などの清潔・最低限の給食マナー5項目（箸で挟む・口を閉じて咀嚼する・パンは一口サイズにして食べる・肘はつかない・茶碗は親指を上にしてほかの指は底に添える）については、自分自身のためだけでなく、他の児童にも安心して安全・清潔で心地よい時間の基礎となることを理解させる。
- ⑤ 教員は、学校栄養職員がその日の献立について心を込めて作成し、教室に配布している「給食ニュース」を、当番が後方で着替えているとき、いただきますをする直前に自ら読んで聞かせること。このプリントを読むことから、学習の時間である給食が始まる。

杉森小給食スタンダード

～給食の時間は 食育の授業です～

12:15 給食の準備

- 石けんを手を洗い、ランチョンマットを机にしきします。全員マスクも付けます。
- 先生が食物アレルギー対応の児童を確認をします。
- 除去食のある児童の給食は、1番初めに先生が給食調理員さんの所に取りに行きます。
- 給食当番は、白衣を着ます。ぼうしもかぶります。
- 危ないので、児童だけでワゴン車は動かしません。必ず先生がつきます。
- 汁物の食缶、熱いものが入っている食缶、重たい食缶は先生が運びます。
- 当番・係の人は配ぜん台をふきます。

配ぜん

- 給食当番は、「もりつけ表」を見て、こんだてと食器の並べ方を確認します。
- ピンクトレイの児童は、1番はじめに先生に配ぜんをしてもらいます。多めにもり付けてほしいければ先生に伝えます。（ピンクトレイの児童は、おかわりができません。）
- 給食当番は、なるべく残飯がないよう、先生と一人分の量を確かめて配ぜんをしましょう。
- 給食を少なくしてほしい時は、必ず先生に伝えます。先生と相談して、バランスよく食べられる量だけよそってもらいましょう。オエっとなるものはおうちの人と先生で相談しよそなくともいいです。時々無理のない範囲で挑戦してみましょう。
- 配ぜんを待つ間や、配ぜんが終わった後は、自分の席で静かに待ちます。

「いただきます」

- 「いただきます」の前に、先生が「給食ニュース」を読みます。「給食ニュース」を聞くことで、食への関心や食欲がわいてきます。
- 給食に携わった人に、感謝の気持ちを込めて「いただきます」のあいさつをします。
- きれいに食べて、給食に携わった人に感謝の気持ちを表しましょう。

おかわり

- 「いただきます」のあいさつ後、残っているものがあればおかわりできます。

話し合って至った結論を反映

食べられるものを捨ててしまわない
ようになるといいね

オエッてなるならよそなくてよい 挑戦
できるときに挑戦しよう

自分の食べられる量に減らしてもらってよい

食べられるならおかわりしよう

食缶を空にする完食は目指さない
自分の適量をよそって捨てることは減らそう

調布市立深大寺小学校の食育の約束や取り組み



チェック	番号	項 目	内 容
	1	食育推進チームの分掌化	月1回給食や食育のことを話し合う 食育リーダー・栄養士・学年1名
	2	夢ワゴンカード作成	その日の給食の情報を食育の6つの内容に
	3	夢ワゴンカード投影	4校時終了後教室のモニターに投影
	4	夢ワゴンカード読み聞かせ	当番着替え中に教員が読む
	5	一斉マナー指導	茶碗の持ち方・肘をつかないなど学期1回
	6	パシャパシャタイム	タブレットで食前食後の写真を撮り持ち帰る
	7	パシャパシャカード宿題	月に1回全員写真を撮って給食について家で伝え 感想を書いてもらう。(カード有)
	8	骨骨コンテスト	きれいに食べて大きな骨の絵にシールを貼りに行く
	9	野菜嫌い解消着ぐるみ	野菜の着ぐるみを着て教室を回る
	10	給食思い出作文コンテスト	民間のコンテストに応募
	11	日本の食文化標語コンテスト	民間のコンテストに応募
	12	給食キャラクター募集	キャラクターを書いて投書 給食室前などに掲示
	13	個別面談	パシャパシャタイムの感想に心配事があれば、面談をする。 偏食・小児生活習慣など食物アレルギー以外
	14	食育関係授業	・各教科との連携授業 栄養士ゲストティーチャー
	15	給食集会	年度当初、アレルギーと給食ルールの確認
	16	食育クイズ集会	学期1回夢ワゴンカードからの出題(給食委員会)
	17	行事要項の役割に給食を記載	運動会で勝つかレーを出すなら、分担表に入れる
	18	4校時終了時刻厳守	深小給食スタンダード(給食の約束)に記載
	19	給食スタンダード作成	深小の給食の課題を整理し約束を作成
	20	給食の放送の是正	給食は授業時間なので、放送は食に関する内容のみ
	21	配膳・下膳指導	残りそうなものは教員が配膳・下膳も立ち合い
	22	給食時間の呼び出し	緊急時のみ
	23	給食指導交換	OJTとして、自身の指導改善・向上に努める
	24	食育ビデオ	YOUTUBE 配信
	25	教員研修	アレルギー対応年2回 食育研修1回
	26	全体計画	課題を基に方策検討(実態把握・成果指標・評価・再計画)
	27	指導計画	いつどんな取り組みをするのか明記
	28		

給食中「話食」の取り組み 時間食トーク

給食は食育の授業時間



しゅん
「旬・さつまいも」

きょう
今日のスイートポテトに

つか
使ったさつまいもは、やおや
さん オススメの「鳴門金時」
ひんしゅ じょうひん あまさ
という品種です。上品な甘さ
と、見た目の美しさが特徴の
さつまいもです。



給食メモ

令和7年6月19日(水)

～今日の献立～

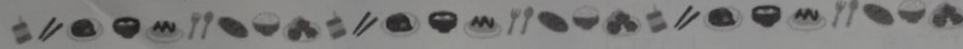
ちゅうかどん
・中華丼

・ぷるぷる寒天のごまだれ中華あえ

いも
・芋けんぴ

ぎゅうにゅう
・牛乳

食育の視点
心身の健康



きょう しょくいく してん しんしん けんこう
今日の食育の視点は、「心身の健康」です。

まいつき にち じぶん かそく けんこう こと しょくいく ひ
毎月19日は、自分や家族の健康を考える「食育の日」です。

きょう けんこう やく だ しょくざい と い
そこで、今日は、健康に役立つ食材をたくさん取り入れた「まごわやさしい」献立です。

まめ かいそうるい やさい さかな しいたけ るい
豆・ごま・わかめ(海藻類)・野菜・魚・椎茸(きのこ類)・
いも かしらもじ
芋の頭文字をとって「まごわやさしい」です。

きょう なか つか しょくざい
今日は、この中で1つ、使っていない食材があります。

いえ た かんせい
その1つを、家で食べると、「まごわやさしい」が完成します。ちなみに、魚の代わりに、ほたてを使っています。

きゅうしょくしつ ねん くみ かんそう じゅう か
給食室へ 年 組(感想など自由に書いてください!!)

きゅうしょくしつ いりまち
ポストは給食室の入口にあります。

今日の給食

調布市立杉森小学校

2025年 6月19日 木曜日

献立名/食品名	一人分量
【牛乳】	
★牛乳	1.00 本
【中華丼(ほたて入り)】	
米	60.00 度
米粒麦	4.50 度
酒	1.00 度
水	0.00 度
炒め油	1.00 度
豚こま肉	20.00 度
ほたて	7.00 度
にんにく	0.30 度
生姜	0.50 度
人参	10.00 度
たけのこ(茹)	20.00 度
白菜	40.00 度
チンゲンツァイ	10.00 度
もやし	12.00 度
きくらげ	7.00 度
塩	0.80 度
こしょう	0.02 度
しょうゆ	0.80 度
酒	1.50 度
ごま油	0.50 度
鶏がら	10.00 度
水	80.00 度
でんぶん	3.00 度
【ごま酢寒天のゴマだれ中華】	
ごま酢寒天(伊勢食品・耐熱タイプ)	7.00 度
きゅうり	15.00 度
もやし	10.00 度
キャベツ	20.00 度
人参	5.00 度
ごま油	1.00 度
酢	1.00 度
砂糖	0.60 度
しょうゆ	2.50 度
★練りごま	0.40 度
★白すりごま	1.00 度
【芋けんぴ】	
さつまいも	45.00 度
油	2.50 度
砂糖	6.25 度
水	3.75 度

今日のサラダに入っている
プルプルしたものは
「ぷるぷる寒天」と言います。

こんにゃくと寒天から作られていて
お中の中をきれいにしてくれます。

※アレルギー食品には記号を添付しています

食トークの留意点

- 4校時終了直後教室に投影
- **いつ読むんですか？**→配膳が終わり当番が着替えているときに読む
- **先生が読む** 教員が読むと子供たちに聞くように注意する（授業で初見の教材）
- 食育の6つの視点からその日に合ったものを栄養士が一つ選んで書く
- 裏面には手配表があり、使われている食材が全てわかる

成果

- 時間にして2分の話聴いてから食べるので、聞いた情報を食べながら確かめられる
- 教員も児童も給食を勉強だと認識する
- 時々全校朝会や集会で食トークから出題するクイズ大会を開くので、教員は読まざるを得ない（システム）

HPの 給食紹介（とどけ!夢ワゴン） 参照



給食授業交換（学年担任制の中で）

週5日のうち3回は違うクラスで給食指導をする



交換給食時のチェック表

___月___日 (___)

交換先の学級___年___組 担任氏名_____

給食指導担当___年___組 (専科_____) 氏名_____

準 備

- ☐ 12:20に給食指導を開始できる状態になっているか。
- ☐ アレルギー確認のダブル・チェックを行い、表に☑を記入したか。
- ☐ 12:30までに除去食を受け取りに行かせたか。
- ☐ 配膳台を乾拭きさせたか。
- ☐ ピンクトレーの児童は、一番初めに、担当教員が配膳したか。

配 膳

- ☐ 配膳中の児童について、静かに過ごさせ、礼儀や思いやりを態度や行動で表すよう指導できたか。
- ☐ 少なく盛り付けする児童に対しても、バランス良く配膳できたか。好き嫌いを許していないか。

☐ 7割以上の配膳ができたか。

食 事

- ☐ 「給食トーク」ができたか。
- ☐ おかわりはバランス良くできたか。
- ☐ 食べ終わった児童も会話を楽しむよう指導できたか。「ごちそうさまでした」の間、読書している児童はいないか。

片付け

- ☐ 食器はきれいか。食べ残しなどができる限り食器から取られているか。
- ☐ 割れないように「カチッ」と小さな音しか出ないような置き方を指導できたか。
- ☐ 重ね方はきれいか。山の高さはだいたい均等になっているか。
- ☐ 食べ残しや飲み残しをきれいに片づけるよう指導できたか。
- ☐ 配膳台を水拭きさせたか。
- ☐ ダスターは干されているか。

例⑪ 給食指導交換 P D C A

成果

- 担任以外でもアレルギー対応に不安が無くなった
- チェック漏れや曖昧な指導が無くなった
- 先生が子どもにきちんと食トークをするようになった
- 配膳指導や下膳指導をしっかり行うようになった
- 残菜の学級間格差がなくなった
- 全員エプロン、三角巾、マスク着用するようになった
- 教員ごとのローカルルールがなくなった
- 子どもたちにも教員にも「給食は授業時間だという意識」が根付いた

課題

- 頻度が少ない → (改善策) 週のうち3回は学年内の他のクラスへ

成果 学年担任制（H26造語）も含めて）

- 担任のローカルルールのは正
- 「うちのクラスは食べない！」を修正
- 4時間目の授業の終わりの時間を守らざるを得ない
- 児童理解が進む（偏食・食物アレルギー・発達課題など）
- 1人で抱え込まない 等



学年担任制とは

給食パシヤパシヤタイム 偏食・クレーム対応



給食ギョギョギョデー

本日はぎょぎょぎょデー！おうちの人と話食をしましょう♪

ねん 年 くみ 組 なまえ 名前 ()



あき みかく さん ま
「秋の味覚 秋刀魚」

きょう さかな さん ま
今日の魚は、秋刀魚です。
あき と かたな よう かたち
秋に獲れ、刀の様な形をして
います。ほね ちゅうい じょうず
骨に注意して、上手
に食べましょう。



学んだこと・おうちの人に話したこと

おうちの人から

おうちの人からの欄は写真や見て気付いたことやお子さんと話した内容・食に関する心配事などを書いていただけると幸いです。
お忙しい場合はサインや印鑑でもかまいません。

パシャパシャ・ギョギョギョの成果

- 一人一台のタブレットにて撮影。それを持ち帰ることで家庭での**話食**が進む
- 家庭への啓発がすすむ
- 児童が毎日の食トークをアウトプットすることで、聞いた話を整理し確認する
- 好き嫌いや小食の状況を家庭で確認できる
- 学校での児童の偏食指導について家庭との連携が始まる
- **個別相談**（写真を基に教員と保護者と栄養士と養護）につながる
- 保護者からの感謝の言葉や意見がよせられ、教員のモチベーションも高まる
- 写真を撮る際、担任が皿や椀の配置を気にする
- 調理員が仕上がりを気にする（野菜のゆであがりの色や刻みなど）

パシャパシャタイムの感想

- どれくらい食べているのかよくわかってありがたい
- お茶碗に米粒がついていないくらいきれいに食べていて驚いた
- 食べる量を調節できるのはとても良い
- どうしても食べられないものはまた挑戦すればよいという考えが素晴らしい
- いろいろなものがつかわれていて驚いた（手配票配布）
- 鯖ものちゃんと食べてすごいねって褒めました

- ▽あまり食べていないので心配
- ▽嫌いでも家では食べさせている 一口は食べさせてほしい
- ▽よそる量が少ないように思った

▽ 個人面談 ⇒ 個別相談へ

個別相談シート（深大寺小学校作成）

食における個別面談

別添1

【プロフィールシート】

1. 本人に関する情報

①氏名	フリガナ	②性別	③生年月日
④学年・組	年 組担任		
⑤給食における心配事	☐ 小食 ☐ 偏食（食材と和度） ☐ 小児生活習慣（程度） ☐ やせ		
	⑥食に関する通院状況（有・無）	通院先 診断名 対応	
	⑦教育歴（在籍年月日）	幼稚園等 園名：（年 月 日～年 月 日） 幼稚園等 園名：（年 月 日～年 月 日）	
		食に関する園での対応	
⑧小児生活習慣の対応	検査名	検査名	その状
	実施機関	実施機関	
	実施日	実施日	
	結果	結果	
資料	☐ 有 ☐ 無	資料	☐ 有 ☐ 無

2. 家庭の考え

①家庭の食事の対応	（朝食や食膳について）家庭どのように起業しているか・食べられないものがある場合どのようにしているか否・家族の食事の時間は決まっているか・みんなが揃うか
②学校給食への要望	

3. 面談・連絡の記録

面談日	出席者（連絡者）		学校の対応・目標
年 月 日	家庭	学校	
時刻		長・副担任	
		管理栄養士	
		看護	
		他	
身長	次回予定		
体重	年 月 日		

食における個別面談

別添1裏面

【面談・連絡記録】

1. 本人に関する情報

①氏名	フリガナ	②性別	③生年月日
④学年・組	年 組担任		

2. 2回目以降の面談・連絡の記録

面談日	出席者（連絡者）		その後の家庭の様子・学校の対応・目標
年 月 日	家庭	学校	
時刻		長・副担任	
		管理栄養士	
		看護	
		他	
次回予定			
年 月 日			
面談日	出席者（連絡者）		その後の家庭の様子・学校の対応・目標
年 月 日	家庭	学校	
時刻		長・副担任	
		管理栄養士	
		看護	
		他	
次回予定			
年 月 日			
面談日	出席者（連絡者）		その後の家庭の様子・学校の対応・目標
年 月 日	家庭	学校	
時刻		長・副担任	
		管理栄養士	
		看護	
		他	
次回予定			
年 月 日			

外部連携

給食キャラクターコンテスト



話食例（家庭でしゃべりたくなる・家庭の食を変える話）



- 校長先生と高血圧の話
- 食育はなぜ教育（知・徳・体）の基礎なのか **人生の生き方に直結する**
 - ☆ 酢の角をとる砂糖とお母さんのツンツンをとる方法
 - ☆ 合わせ出汁の相乗効果と協力
 - ☆ かき氷のシロップと先入観

等々

成果

☆教員も驚く給食 鯛めし

☆二次発酵手造りパン

☆米のソムリエによる料理に合わせたコメの品種選択 →

☆羅臼と本枯節 出汁はすべてのベースです



YOUTUBE動画 お米編

- 教員が知りたくなって聞いてくる
- 保護者が聞いて驚く 質問してくる

食文化校内標語コンテスト

未来に残したい“日本の食”

校内 標語コンテスト

テーマ

『発酵食品・発酵調味料



を使った料理』

👑 最優秀賞 👑

キムチ鍋

野菜たっぷり

腸元気



成果

- 教科連携が確実に行われ、食の指導計画に目が向く
 - 食の指導計画の活用を高める手段が増えた
 - ・食の指導計画の該当箇所に教科書のコピーを張り付ける
 - ・各教科の年間指導計画に食育に関する印（食指）をつけ食の全体計画に促す

こうして出来上がった本校の理念

基本理念 子供たちの健やかな成長と生涯にわたる健康の保持増進。
そして、これから7万回食べる食事を楽しむことで、豊かな人生を笑顔で
過ごすことができるようになることを願う。

給食の時間 給食は楽しく食べて学べる食育の授業時間です

話食を目指して！

これからの取り組みにもご期待ください！

ここまでの質問タイム！

まずは近くの人と話してみて

この後ご質問承ります

偏食・残食指導

偏食

2 偏食のある児童生徒

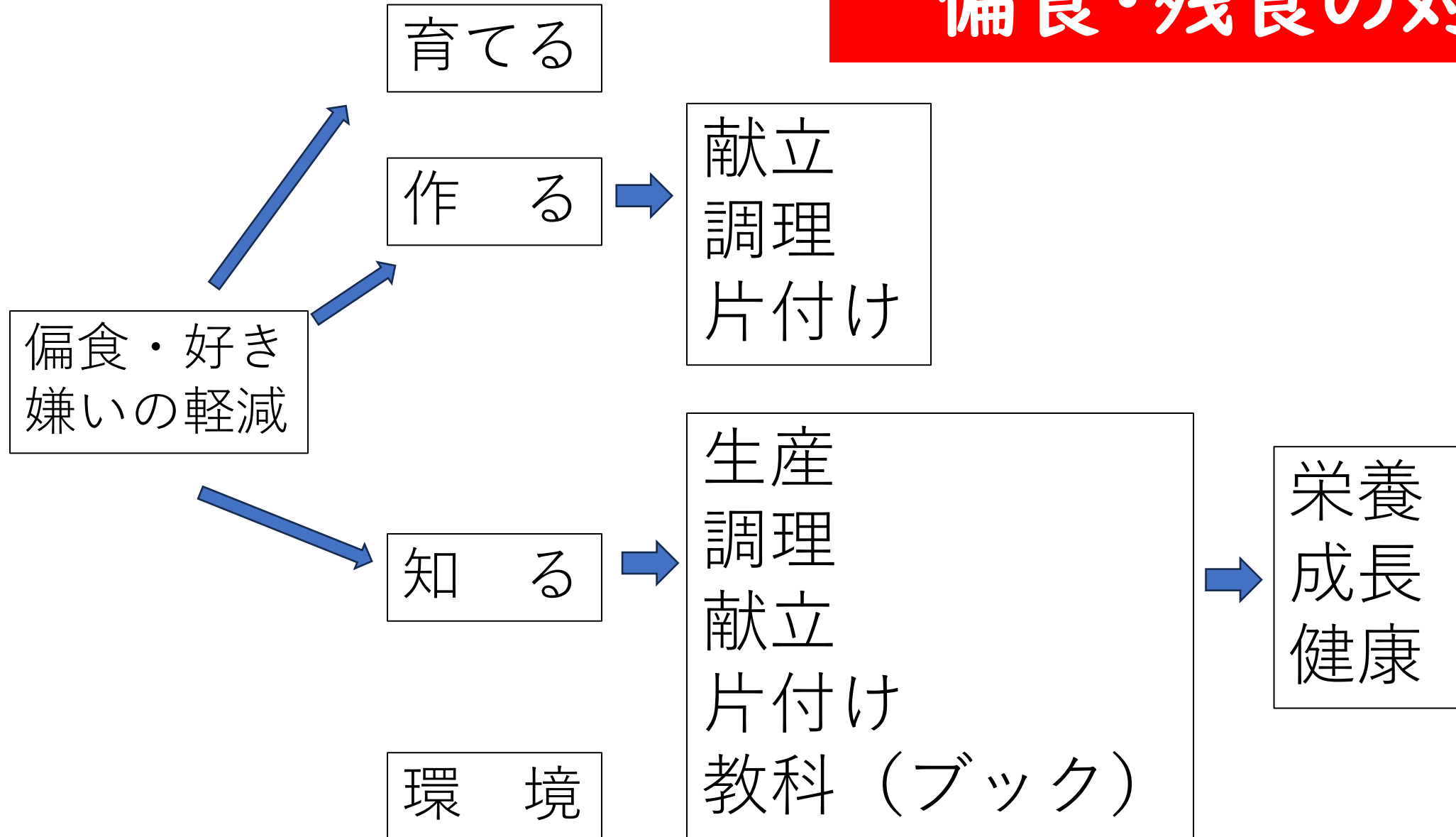
(1) 偏食とは 特定の食品や食品群を嫌って食べない、または限られた食品ばかりを好んで食べる傾向 にあることを偏食といいます。偏食の原因としては、味、匂い、見た目、食感、温度、調理方法、食器具、食経験の乏しさ、家庭での食習慣、特定の食品を食べて体調を崩した負の経験など様々です。偏食の多くは、成長や味覚の発達に伴い改善していく傾向にあります。

食に関する指導の手引
—第二次改訂版—



平成31年3月
文部科学省

偏食・残食の対応



豆の日

すごおおおい！と言いにいったクラス



行かれなかったクラス

